

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県ことぶき大学校
条例上の設置目的	(ハーモニープラザの設置目的) 社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	高齢者が知識や技能を修得し、仲間づくりを行い、学習の成果を地域活動に生かすことなどを通じ、生きがいつくりと地域の活性化を図っていくこと。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が知識・技能を自ら修得できる場を提供すること。 ・地域や多世代の人との交流の場を提供すること。 ・地域活動の担い手となる人材を育成すること。
制度導入により見込まれる効果	学生の満足度が向上する効果及び卒業後の地域活動への参加意欲が向上する効果
成果指標※	① 学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合 (卒業時アンケート)
	② 卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合 (卒業時アンケート)
	③ 卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合 (卒業後3年まで)
数値目標※	① 90%以上
	② 90%以上
	③ 60%以上
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	【代表団体】社会福祉法人千葉県社会福祉事業団 ※施設維持管理等業務担当
	【構成団体】社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
	【構成団体】公益財団法人千葉県文化振興財団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日 (2年)
選定方法	非公募
非公募理由	<p>千葉県ハーモニープラザは、平成28、29年度において、施設全体のあり方を検討した結果、ことぶき大学校及び男女共同参画センターの一部を蘇我コミュニティセンターの分館に転用することに決定した。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度までの2年間においては、利用者等への周知や施設の効果的かつ効率的な管理体制等の調整をすることとしており、指定管理者の選定にあたっては、指定期間が原則の5年間より短い、2年間であっても、安定した施設運営が可能な団体を選定する必要があることから、「千葉県公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」第2条第3号の規定に基づき、実績のある現指定管理者の千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体を非公募で指定することとした。</p>
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合（卒業時アンケート）	90%以上	96.00%	106.67%
卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合（卒業時アンケート）	90%以上	86.50%	96.10%
卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）	60%以上	77.90%	129.83%

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H30年度実績
定員	210名
応募者数	185名
入学者数	155名
卒業者数	137名

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
指定管理料	実績	31,981	32,289	実績－計画	0
	計画	31,981	32,289	計画－提案	△ 7,328
	提案	39,309	36,940		計画の精査による
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0	0		
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0	0		
合計	実績	31,981	32,289	実績－計画	0
	計画	31,981	32,289	計画－提案	△ 7,328
	提案	39,309	36,940		

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
人件費	実績	13,939	13,986	実績－計画	△ 1,484
	計画	15,423	14,487	計画－提案	△ 252
	提案	15,675	14,789		非常勤賃金・法定福利費差額 計画の精査による
事業費	実績	10,166	10,811	実績－計画	△ 613
	計画	10,779	11,691	計画－提案	△ 6,444
	提案	17,223	16,576		複写機賃借料差額他 計画の精査による
事務費（委託 費を除く）	実績	3,271	3,615	実績－計画	△ 220
	計画	3,491	3,674	計画－提案	△ 394
	提案	3,885	3,340		修繕費差額他 計画の精査による
委託費	実績	1,262	1,259	実績－計画	0
	計画	1,262	1,262	計画－提案	0
	提案	1,262	1,286		
その他事業費	実績	0	0	実績－計画	0
	計画	0	0	計画－提案	0
	提案	0	0		
本社費・共通費	実績	1,748	1,585	実績－計画	722
	計画	1,026	1,175	計画－提案	△ 238
	提案	1,264	949		事業区分間繰入金支出の増 事務局経費案分額の変更
合計	実績	30,386	31,256	実績－計画	△ 1,595
	計画	31,981	32,289	計画－提案	△ 7,328
	提案	39,309	36,940		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

千葉県社会福祉事業団の各事業予算額に応じて按分

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
自主事業収入	実績	255	262
その他収入	実績	35	0
合計	実績	290	262

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
人件費	実績	85	79
事務費	実績	0	0
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	199	180
利用料金	実績	6	3
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	290	262

間接費の配賦基準・算定根拠

該当費目

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	【参考】H29年度
必須業務	収入合計	31,981	32,289
	支出合計	29,352	31,256
	収支	2,629	1,033
自主事業	収入合計	290	262
	支出合計	290	262
	収支	0	0
総収入		32,271	32,551
総支出		29,642	31,518
収支		2,629	1,033
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
学生生活において「とても満足している」、「満足している」と答えた人の割合が90%以上（卒業時アンケート）	B	成果指標の達成率106.67%は目標値を上回っているが、達成率は昨年度より約2ポイント減少した。 (108.90%→106.67%)
卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したいと答えた人の割合（卒業時アンケート）90%の達成	C	成果目標の達成率は96.10%は目標値を上回っているが、達成率は昨年度より約3ポイント減少した。 (99.33%→96.10%)
卒業生のアンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年生まで）60%の達成	A	成果指標の達成率が129.83%で目標値を大きく上回っているが、達成率は昨年度より約8ポイント減少した。 (137.48%→129.83%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	4（1）イ 実績30,386千円÷提案39,309千円＝77.3%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：選定時の提案額から10%以上の削減
B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
（D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力	C	C	
(1) 人的組織体制の充実			
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務			
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮	B	C	
(1) 幅広い施設利用の確保			
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実			
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施			
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4 その他	C	C	
市内業者の育成			
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・管理運営については、ボランティア活動等の参加率が非常に高いことについて評価できるが、次の事項に留意されたい。 ①入学者数の減少に対する対応策について検討していただきたい。 ②ボランティアに積極的にかつ継続して関わっていただけるような仕組みづくりに努めていただきたい。 	H29年度	<ul style="list-style-type: none"> ①入学者数の増加に向けて、募集要項を市内施設に10,000部（昨年度9,000部）配布した。また、新聞折込みを新たに行い、オープンキャンパスでのチラシ配布を含め43,445部（昨年度は4,000部）配布した。また、オープンキャンパスにおける体験教室の内容の見直しも行き、体験教室の参加者は234人（昨年度56人）と大幅に増加した。その結果、応募者も255人（昨年度185人）となり、入学者数は各クラス定員に達した。 ②在校生及び卒業生に対し、ボランティア活動の支援として、ボランティア相談窓口の周知を徹底し、希望する情報の検索や活動紹介などの支援を行った。卒業生に対しては、団体立ち上げの支援や、アンケートで相談希望のあった者に対して連絡を行う等、地域活動やボランティアに対する情報提供を行い、継続的にボランティアに関わるような体制を構築した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	在学生及び卒業生に対する書面によるアンケート調査					
	回答者数	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生：対象者延べ424人、回答者延べ393人、回答率92.7% ・卒業生（平成23年度以降の入学性）：対象者1088人、回答者544人、回答率50.0% 					
	質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生：ことぶき大学校の満足度、学校行事の満足度、学習成果等 ・卒業生（平成23年度以降の入学性）：地域活動やボランティア活動への参加状況等 					
結果	【1学期】 地域活動実践講座について		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	ボランティア活動と生きがい		27.1%	56.4%	7.1%	1.4%	7.9%
	市民主体のまちづくり		19.3%	58.6%	9.3%	0.7%	12.1%
	区別活動団体紹介・交流会		25.7%	55.7%	7.1%	0.0%	11.4%
	地域ボランティアのすすめ		26.4%	47.9%	6.4%	0.7%	18.6%
	【2学期】 (1) 学校行事について						
	活用度		十分できた	まあまあできた	あまりできなかった		無回答
	大学祭（企画参加）のためのLHR		37.8%	53.5%	5.5%		3.2%
	スポレクについてのLHR		43.3%	49.6%	3.9%		3.2%
	時期		適切	早かった	遅かった		無回答
	大学祭（企画参加）のためのLHR		80.3%	11.9%	3.9%		3.9%
	スポレクについてのLHR		88.2%	5.5%	3.9%		2.4%
	回数		適切	多かった	少なかった		無回答
	大学祭（企画参加）のためのLHR		72.4%	11.0%	9.5%		7.1%
	スポレクについてのLHR		80.3%	3.9%	12.6%		3.2%
	(2) 専門講座について						
		体位変換と車イスの移動、歩行介助	身体調整トレーニング3	残存能力を生かす（リハビリ）	障害者福祉的障害のある方を理解するために	手話を学ぼう手話の基本1・2	
福祉健康学科 特によかったと思う講座で回答が多かったもの（複数回答）（全19講座）	58.3%	56.3%	39.6%	38.7%	35.4%		
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
園芸学科 授業の内容や進み具合		15.2%	52.2%	23.9%	2.2%	6.5%	
美術学科 授業の内容や進み具合		46.7%	46.7%	6.6%	0.0%	0.0%	
陶芸学科 授業の内容や進み具合		83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
(3) 地域活動実践講座について							
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
第5回（卒業生による活動発表）		33.1%	52.8%	2.3%	0.0%	11.8%	
第6回（活動体験報告会）		34.6%	52.1%	3.1%	0.0%	10.2%	

【3学期】

(1)教育目標について

ア 自己の教育	はい	いいえ	無回答・その他
基本的な知識や技能が習得できた	92.9%	4.8%	2.4%
卒業後も学び続けたい	95.2%	1.6%	3.2%
イ 地域や多世代の人との交流	はい	いいえ	無回答・その他
いろいろな活動を通して、多世代(異年齢)の人と触れ合うことができた	91.3%	5.6%	3.2%
ウ 地域社会への参加と仲間づくり	はい	いいえ	無回答・その他
仲間ができた	92.9%	3.2%	4.0%
生きがいがあった	79.4%	15.9%	4.8%
エ 地域活動・ボランティア人材育成	はい	いいえ	無回答・その他
地域のことに興味をもつようになった	85.7%	9.5%	4.8%
社会参加の大切さを学んだ	92.1%	5.6%	2.4%
ボランティアが身近に感じられるようになった	93.7%	4.0%	2.4%
卒業後、ボランティア活動に参加したい	86.5%	10.3%	3.2%

(2)ことぶき大学の満足度について

	とても満足	満足	不満	とても不満	無回答・その他
学生生活の満足度について	37.3%	58.7%	2.4%	0.0%	1.6%
専門講座の満足度について	33.3%	54.8%	10.3%	0.0%	1.6%
地域活動実践講座の満足度について	20.6%	68.3%	5.6%	0.0%	5.6%

【卒業生アンケート】

地域活動やボランティア活動への参加状況

	回答率 (全体)	回答率 (卒業後3年間)
現在継続的に参加している	64.9%	67.6%
たまに参加することがある	13.1%	12.9%
現在はほとんど参加していない	16.5%	14.7%
参加したことはない	5.0%	4.3%
無回答	0.6%	0.4%

(2)市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
【市】 なし	—
【指定管理者】 なし	—

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括 評価</p>	<p>B</p>	<p>所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、大学校の目的・目指すべき方向性を踏まえて適正に事業を実施した。 ・広報においては、応募者もオープンキャンパスの参加者も低迷していたことから、募集要項を10,000部（昨年度9,000部）配布した。また、新聞折込みを新たに行い、オープンキャンパスのチラシを含め43,445部（昨年度は4,000部）配布した。オープンキャンパスの体験教室の内容の見直しを行い、その結果体験教室の参加者は234人（昨年度56人）と増加し、応募者も255人（昨年度185人）となり、平成31年度入学者は定員を確保することができた。 （最後の募集と知って入学を決めたという声も聞かれている。） ・福祉健康学科では、オリンピック・パラリンピックで共生社会への関心が高まっていることを契機に、共生社会の実現を目指すため障害者福祉を学ぶ授業を増やした。今までの高齢者福祉・地域福祉分野に加えて障害者福祉の授業と実習を新たに実施し、選択制の授業形式とした。幅広い学習内容の提供ができ、また個人の興味関心に応じた学習が選択できたことで、それぞれの分野で実習の満足度が上がり、また福祉やボランティアへの意識向上へつながった。 ・「地域活動実践講座」では、平成29年度に引き続いて「活動団体交流広場」を実施した。27団体との交流の場で、その後の見学・体験につながるように仕組みづくりを行い、見学や体験希望者の増加に繋がった。 ・「ボランティア体験」の事業では、新たな試みとして、学生自身が企画、計画、実施をする「チャレンジ体験」を行い、9名（3組）のチームが活動を開始した。中でも「あいあいスケッチ」チームは、“農業と食のネットワークづくり”をテーマに今年度も活発な活動を行っている。体験数は281名（昨年度433名）と減少したが、これは在籍者数の減及び予定していた2体験が講師の急病により中止になったことが原因と思われる。 ・卒業生への地域活動支援として、平成30年度は上記の「活動団体交流広場」及び交流会への参加を呼びかけ、46名が参加した。今後の活動の参考になったという感想が多くみられたほか、在校生との交流も図られた。 ・年度末の学生アンケート結果においては、約9割の学生が各教育目標に基づく質問に「はい」と回答していることから、教育目標は概ね達成できたと考える。 ・学生生活において、「とても満足している」や「満足している」と答えた人の割合が96.0%、卒業後に「地域活動やボランティア活動に参加したい」と答えた人の割合が86.5%であった。活動に参加したいという回答は9割をやや切ったものの、数値目標は概ね達成できたと考ええる。 ・卒業生を対象としたアンケートで、地域活動・ボランティア活動に関して「現在、積極的に参加している」や「たまに、参加することがある」と答えた人の割合（卒業後3年まで）が77.9%であったことから、実際に地域で活動する人材の育成につながれていると考ええる。
------------------	----------	---

(2) 市による評価

総括 評価	B	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・在学生の96%が「とても満足」または「満足」と答えているように、在学生の学校に対する満足度は非常に高く、良好な管理運営が行われていると評価できる。また、多くの学生が「地域のことに関心をもつようになった」と回答し、「卒業後にボランティア活動に参加したい」と回答する学生が86.5%と高い水準であり、地域活動の担い手となる人材を育成する等の役割を果たしていると認められる。 ・平成30年度に行った平成31年度学生募集では、応募者数が255人（前年度比100人増）となり、平成31年度入学者数は210人（前年度比55人増）となった。昨年度の状況を踏まえると、定員充足率が100%（前年度比26.2%増）となったことは評価できる。応募者数が増えた要因として、新聞折込みを新たに行ったこと、オープンキャンパスにおける体験教室の内容の見直しを行い、体験教室の参加者が234人（昨年度56人）と大幅に増加したことによるが、広報の方法によっては、十分な成果が見込めることを再確認した。 ・事業実績からも、施設運営に関する基本的方針に沿った管理・運営を行ったと評価できる。特にボランティア活動を行う人材の育成については、ボランティア相談窓口を設け、希望する情報の検索や活動紹介などの支援を行った。相談実績も78件と成果をあげている。また、卒業生に対してもボランティアに関する情報の提供、支援を行っていることも評価できる。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、(仮称)ボランティア大学校への移行へ向けて、良い点、悪い点を整理、検討していただき、今後の運営に生かしていただきたい。